

第2学年国語科学習指導案

1 単元名 どうぶつの「すごい!!」を見つけてつくろう!～すごいぞ!!○○クイズ～
教材名「ビーバーの大工事」(東京書籍 2年下)

2 単元の目標

○ビーバーやほかの動物に関心を持ち、進んで教材文を読んだり、本を読んで調べたりすることができる。【国語への関心・意欲・態度】

○ビーバーのダム作りや巣作りの様子を、順序に気をつけて読み取ることができる。【読む能力】
C(1)イ

◎知りたいことに関係のあるだいたいな言葉や文を見つけながら、教材文や本を読むことができる。

【読む能力】C(1)エ

○クイズを作るために、動物の生態について書かれた本を選んで読むことができる。【読む能力】
C(1)カ

○前後の語句や文のつながりに気をつけて、クイズの問題と答えを書くことができる。

【書く能力】B(1)ウ

○「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書くことができる。

【言語についての知識・理解・技能】伝国(1)イ(エ)

3 単元について
省略

<図書館を活用した学習の単元計画>

実施時期	単元名	内容
4月	○「図鑑の使い方を知ろう」	○図鑑の使い方を知る。
5月	生活科「野菜のひみつを調べよう」	○自分の栽培する野菜の特徴や世話を調べる。
9月	生活科「虫について調べよう」	○情報カードの書き方を知る。 ○虫とりでつかまえた虫に飼育の仕方を調べる。
10月	国語科「虫のすごい!を紹介しよう」	○虫の習性など「すごい!」と思ったことを情報カードに書き、それをもとにクイズづくりを行う。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	○ビーバーやほかの動物に関心を持ち、進んで教材文を読んだり、本を読んで調べたりしようとしている。
読む能力	○ビーバーのダム作りや巣作りの様子を、順序に気をつけて読み取っている。 ◎知りたいことに関係のあるだいたいな言葉や文を見つけながら、教材文や本を読んでいる。 ○クイズを作るために、動物の生態について書かれた本を選んで読んでいる。
書く能力	○前後の語句や文のつながりに気をつけて、クイズの問題と答えを書いている。
言語についての知識・理解・技能	○「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書いている。

5 (単元) 指導計画

次	時	目標	主な学習活動	評価基準と評価方法			
				関	読	書	言
第一次	1	動物の「すごいぞ!!」に関心を持ち、単元のゴールの見通しを持つ。	○「虫のすごいぞ!クイズ」を思い出したり、「どうぶつのひみつクイズ」の見本を見たりして、単元のゴールとなる活動のイメージを持つ。	○			【関】ビーバーやほかの動物について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。(発言・行動観察)
第二次	2~8	①ビーバーの体の特徴、②ビーバーの得意なところ、③ビーバーの賢いところ(生きるための知恵)の3つの視点を書かれている文を探しながら教材文の内容を読み取り、クイズを作る。	○クイズの作り方を確認する。 ○見出しで明示されている3つのまとまりごとに3つの視点をおさえていく。 ○元の文をどのように工夫してクイズに書き換えたかを全体で確かめる。 ○教材文を読んで分かったことをまとめる。		○		【読】クイズを作るために、だいたいな言葉や文を探しながら読んでいる。(情報カード・発言) 【読】ビーバーのダム作りや巣作りの様子を、順序に気をつけて読み取っている。(ワークシート・発言)
第三次	9~17 (本時) 10/17	動物についての本を読んで、動物の「すごい!!」を見つけ、「すごいぞ!!クイズ」を作る。	○調べたい本や図鑑の使い方について復習する。(目次、索引の使い方) ○本を読み、教材文で学んだ3つの視点をもとに驚いたことや初めて知ったことが書かれているページに付箋を貼る。 ○付箋を貼ったページからみんなに伝えたいことを選び情報カードに書き、情報カードをもとにクイズを作る。 ○友達に問題を出題したり、友達の作ったクイズの答えを本で読んで調べたりする。		○	○	【読】知りたいことに関連のあるだいたいな言葉や文を見つけながら読んでいる。(行動観察・情報カード) 【書】前後の語句や文のつながりに気をつけて、クイズの問題と答えを書いている。(ワークシート) 【言】「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書いている。(ワークシート)
	18		○単元の振り返りを行い、知りたいことに関係のあるだいたいな言葉や文を探しながら本や文章が読むことができたかを確かめる。		○		【読】だいたいな言葉や文を探しながら本や文章を読むことを理解している。(ワークシート・発言)

6 本時の学習 (10/17)

(1) 目標

動物の「すごいぞ!!」を3つの視点を意識しながら、大事なことばや文を見つけて情報カードに書き抜くことができる。【読む能力】

(2) 展開

学習活動と予想される児童生徒の反応	教師の支援
<p>1. 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぜん校のみんなにつたえたい「すごい!」「びっくり!」「へえ~!」を見つけよう。</p> </div>	<p>○全校に紹介するクイズ作りをすることを想起させ、意欲を高める。</p> <p>○学習の流れを示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p>

2. 「ビーバーの大工事」で見つけた3つの視点について確認する。

- ＜3つの視点＞
- ①動物の体の特徴
 - ②動物の得意なこと
 - ③動物の賢いところ

3. 情報カードの書き方を確認する。

- ・書いてあること全部を書いたら大変だな。
- ・クイズにしたいところだけを書いたらいいんだな。

4. 本を読み、友達に伝えたい「すごい！」「びっくり！」「へえ～！」を見つけ、情報カードに書く。

5. 学習の振り返りと次時の予定を確認する。

○教材文「ビーバーの大工事」で学習した3つの視点を示すことで、何を調べたらよいか目的意識を明確にもつことができるようにする。

○手本となる情報カードを示し、情報カードには必要な言葉だけ書くことを意識できるようにする。

○担任、司書教諭、学校司書で役割分担を明確にし、どの児童の様子も把握できるように努める。

- ・担任→全体の様子
- ・司書教諭、学校司書→支援が必要な児童

○何を書いたらよいか困っている児童に対しては、3つの視点の中から何を調べたいか一緒に考えるようにする。

○情報カードに書き抜くことができた児童に対しては、良い点を認める言葉がけをし意欲を高めるようにする。また、別の視点でも探してみるように促す。

☆3つの視点をもとに、必要な情報を情報カードに書き抜くことができる。（行動観察・情報カード）

○良かったところを紹介し、次時への意欲づけを行う。

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
3つの視点をもとに、視点に関係のある大事なことばや文など必要な情報だけを情報カードに書き抜くことができる。	3つの視点をもとに、視点に関係のある大事なことばや文を情報カードに書き抜くことができる。	3つの視点の中から調べたいことを一緒に考えたり、キーワードとなる言葉を確認したりしながら調べる。

(4) 研究の視点

3つの視点を示したことは、大事なことばや文を見つける手立てとして有効であったか。